

2013年3月3日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2013年4月30日】

団体名 ポテトキッズ

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

共有体験から生まれる思いやりのあるやさしい街プロジェクト

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。
インクルーシブ教育の理念は、障害のある子どもを共に学び分業教育が学校の現状です。成長する子どもたちの心の育ちは障害のある子どもに寄り添うことができません。共有の時間、体験を重ねることが相互理解、共生社会につながることを考えます。このプロジェクトの一番の狙いです。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。
地域の学校の教室、体育館、そして人材を借り、障害のある子どもと共に楽しい課題に取り組む。共有体験を重ねます。
<国作りなびの調理> 障害児と含め調理師、調理の過程の中でお互いのことを学びあいます。認めると、仲間と、通じあえない自由さを知ることにあります。しかし、出来あがり、団子のおいしさは共通です。
<親子バスハイキング> 障害児を抱える家族、そして家族が関わりを持ちます。時間と会話を重ねることで理解を深めます。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

遊ぶことは楽しいこと(国作りなびの調理)を課題とし、バスハイキングなど思いまいたるようなワクワクする行事を体験したりします。また子どもたちの交流だけでなく、親子の行事、地域の年長者を借りるなど、周囲の人々もプロジェクトに巻き込み、理解者を増やします。また学生のボランティアを育て、障害理解の深い共生社会を作り核にします。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

助成金もいただき活用し、障害のある子ども、子どもと共に楽しく遊ぶ体験をしました。この共有体験は心の成長に欠かすことのできない刺激を受けたいことを言うまでもありません。社会の中には同じ学校で学ぶ仲間以外にも、いろいろな仲間がいることを知り、これから将来の生活と関わりながら共生する感覚を身につけてほしいと願っています。今後も、大人の働きかけ、子どもを継続してこころの相互理解と優しい街形成につながることを思います。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。参考資料あり・特になし

☆こんな活動をしています。

- 2012, 6** お団子作り(鈴木小学校にて)
三色団子を作ったよ！鈴木小のお友だち、小金井特別支援のお友だち、こねてまるめて、、、みんな手はベタベタ、、、一緒にたべよう！
- 2012, 6** ポップコーン、スーパーボールすくいのお店を出店
(小平八小“わいわいひろば”にて)八小青少対主催
八小校庭、いっぱいのお友だちとお店屋さんめぐり、楽しいよ！
- 2012, 7** 灯ろう作り(鈴木小にて) 放課後子ども教室主催
8月、小平市灯りまつりに出展の灯ろうを作成！
- 2012, 11** 「羽田」
JAL機体整備工場見学、羽田空港散策
親子バスハイキング
鈴木小のお友だちもいっしょにバスハイキング、
大きな飛行機を近くで見たよ！飛ぶ不思議も分かったよ！
広い羽田空港にはお店も人もいっぱい！楽しかったよ！
- 2013, 1** もちつき大会参加(鈴木稲荷神社にて)青少対主催
- 2013, 3** いちご摘み取り(小平フクシマファームにて)

(白めきのものはポケットキッズのみんなで企画したものです。)

**みんな小平の仲間たち
いっしょに楽しく遊びたい！
いっしょに大きくなりたいな！**



特別支援学校に通学する子どもたちは、地域、普通小とのかかわりを持つことがほとんどありません。ポケットキッズの行事を通して、みんなと交流してみませんか？
障害のある我が子たちにとって、貴重な時間になりますよ！将来の我が子たちにとって、大切な時間になるはずです。
障害理解の啓発、お母さんの力も必要です。豊かな生活を送るために！

平成24、25年度の活動は、Shinjōプロジェクトより助成を頂いています。

ポケットキッズ便り (わいわいひろば)

2012年7月10日

6月16日、雨予報、やはり、梅雨、今年も体育館実施となりました。少し残念でしたが、涼しくて過ごしよいお天気です。



小平八小、「第11回わいわいひろば」、
ポケットキッズのブースは8回目の出店です。
ポップコーン・スーパーボールすくいを開店しました。

わいわいひろばの出店団体の多くは、地域にあるハンディのある人たちが利用する福祉施設です。

あしたば作業所：木のパズルを作っています。主に中途障害のおじさん、おばさんが活躍しています。

あおぞら福祉センター：木のビーズ、日中一時支援などでお世話になりますね！

おだまき：さきおり小物、機織体験をさせてれています。出来上がりは、タペストリーなどに加工されて、校長室に飾られています。

ガイドヘルプあい：視覚障害の人をサポートする団体です。その他に車椅子体験もありますよ！



健全な子らの通う学校でのこの行事の狙いは、「共生」なんだと感じます。社会には、色々な人がいることを知る、良いきっかけづくりだと思います。このわいわいひろばは、自然な形で、障がいや我が子たちのこと知ってもらいたい良い機会です。

ポケットキッズのみんなは、八小地域のサッカーチーム、野球チーム、そして、PTAのお母さんたちが出店するフリーマーケットを回り、“わいわい”を楽しんでいます。

今回は、学芸大、かえつ大の学生さんがお手伝い下さいました。ありがとうございました。

私たちのお店では、ポップコーン、スーパーボールを合わせて、売上げは¥23,800-、ポップコーンのカップを小さくした（内緒！）ので、上出来！地域の皆さんとお話しができました。子どもたちがポップコーンの列に並んでくれました。みんなで過ごす楽しい時間でした。ありがとうございました。

問い合わせ
西海 042-467-5161 加藤 042-458-8720



<ポケットキッズの活動は、社会貢献目指す「SHINJO プロジェクト」の支援を頂いています。>